

2. 小豆優良系統‘岡系1号’の育成			
[要約] 本県に適する、 <u>良質</u> 、 <u>多収</u> 、 <u>製あん適性</u> に優れた秋小豆系統‘ <u>岡系1号</u> ’を交雑育種法によって育成したので、現地実証に移す。			
研究室名	作物研究室、中山間研究室 (前野菜作物研究室)	連絡先	08695-5-0271(内線220)

## [背景・ねらい]

岡山県で栽培されている品種は新備中大納言及び丹波系統であり、品質は優れているものの収量がやや低い。そこで新備中大納言の優れた形質を受け継ぎ、より多収な品種の育成を行う。

## [成果の内容 ・特徴]

1. 秋小豆‘岡系1号’は、平成2年に‘新備中大納言’を母、‘京都大納言’を父として交配し、平成7年から系統選抜法で育成した。平成12年産小豆については、生産性と餡加工適性の評価も行った(表1、2)。
2. 開花期、成熟期は新備中大納言並であった。
3. 主茎長は新備中大納言より長く、主茎節数および分枝数とも多かった。
4. 収量性は新備中大納言より優れた。
5. 粒大は新備中大納言よりやや小さいが、外観品質は新備中大納言並であった。
6. 餡加工における食味は、小豆の風味を豊かに備え優れていた。

## [成果の活用面・留意点]

1. 普及地帯は、一部高冷地を除いた県下全域とする。
2. 収量性については地域変動が予想されるため、現地適応性試験を要する。

[具体的データ]

表1 小豆選抜系統の生育及び収量特性

系統名	試験年次 (年)	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	生育中の障害			主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	分枝数 (本)	全重 (kg/a)	子実重 (kg/a)	標準比率 (%)	百粒重 (g)	品質 1~3
				倒伏	蔓化	ウイルス								
9001-1-9-2	11~12	9/8	11/8	無	無	少	36.8	14.6	5.4	33.1	19.2	79	23.8	1.0
岡系1号	"	9/6	11/6	無	無	少	44.0	16.1	5.8	44.6	26.5	110	23.2	1.0
900-1-23-4	"	9/7	11/2	無	無	少	39.0	15.4	4.9	39.8	25.1	104	22.7	1.0
9001-1-30-1	"	9/11	11/11	無	無	やや多	39.4	15.0	5.6	34.7	16.3	67	27.4	1.5
標)新備中大納言	"	9/7	11/6	無	無	少	35.8	14.7	4.9	38.7	24.2	100	24.3	1.0

農試本場における平均値

平成11年は7月23日、12年は7月21日に播種

表2 小豆選抜系統の餡加工評価

項目	評価
形	大きくふくよかで優良である。
色	濃い過ぎず薄過ぎない。良好である。
香り	豊かで柔らかく、きつみがない。
風味	小豆本来の風味を豊かに備え、魅力ある味わいである。
皮の口溶け	北海道産に比べて少し柔らかさが欲しいが、硬過ぎはしない。
総評	実に立派で、他のものに比べて優れた特徴をもっており、市場に出して欲しい。価格もハイレベルとして通用する。

餡加工の評価は、岡山市の和菓子店に依頼。(平成12年)

[その他]

試験研究課題・事業名：特産豆類の育成と良品生産技術の確立、小豆の系統比較試験

予算区分：県単

研究期間：平成3年～12年度

関連情報等：なし